

R5 講評（ 昆虫 ）の部

- ◎ 標本のつくり方が、年々良くなっています。特に、中学年や高学年を中心に、展翅、展足が良くなっています。
- 低学年は、保護者がどこまで手助けするかで、その子の作品の良さがもっと引き出されると思います。
- 標本ラベルは、昆虫針の途中に付けるようにすると良いです。別々にすると、後で分からなくなることもあります。
- 本年度は出品展数が少なかったです。

【県知事賞作品への講評】

- ◎ 標本が丁寧に、しっかり作ってありました。
- ◎ 県内各地で採集し、多くの種類を標本にしてありました。
- ◎ 一年を通して、採集していました。
(季節型など、違いが大変分かりやすかったです。)
- ◎ ラベル一つ一つが、しっかり付いていました。
- ◎ ラベルの内容（種の同定）と目録が合っていました。

R 5 講評（ 貝 ） の部

- ◎ 太平洋側，錦江湾内，離島など，県内各地で採集し標本にしていました。
- ◎ 同じ採集場所に数回訪れ採集することで，同じ貝でも，状態の良い標本が多く選ばれていました。
- ◎ 目録に，日記のように絵や言葉で詳しく採集する様子を書いている作品がありました。見ていてとても楽しかったです。
- 巻貝の固定の仕方について，がらのある方を上にしたり，ふたがある口を手前（とがった方）にくるように工夫したりすると，更に良い作品になります。【図鑑の写真を参考にしてください。】

【県知事賞作品への講評】

- ◎ 巻貝，陸貝，二枚貝，イカ，タコ，淡水など，多くの種類の貝をバランスよく採集し，標本にしていました。また，標本の並べ方が大変工夫されていました。さらに，下に敷いているフェルトにもしっかりと標本を固定し，とても感心しました。

R 5 講評（ 植物 ）の部

- ◎ 1年間を通して、継続した採集が大変良いです。
- ◎ 入選するための作品ではなく、勉強するための標本が多く、大変感心しました。
- 標本にする際、新聞紙を押す作業が不十分な作品が見られました。しっかりと新聞紙で押さえると更に良くなります。
- 台紙いっぱいには標本を貼ると良いです。
- シダ植物を採集する際、胞子が付いたものがよいです。
- 子供らしい感想もあると、更に良くなると思います。
- 小さい植物は、紙面いっぱいには複数貼ると良いです。
- 標本に資料を添付すると、更に分かりやすくなります。観察の記録をしっかりと付けたものがあり、とても感心しました。
- 実がない作品もありました。

【県知事賞作品への講評】

- ◎ 新聞紙を頻繁に代えることで、植物の色がはっきりと出ていました。（新聞紙の交換がしっかりとできています。）
- ◎ 年間を通して、季節ごとに採集活動ができていました。
- ◎ 台紙全体に標本を貼っているのが大変良かったです。

R5 講評（ 岩石 ）の部

◎ 本年度は、岩石の種類も豊富で、標本の大きさも十分な作品が多く見られました。審査をして気づいたことを、2つアドバイスします。今後に向けて参考にしてください。

① まず、採集前に、どこに、どんな岩石があるのかを、本などを使って調べ、採集の計画を立てましょう。そうすることで、より多くの種類の岩石を収集することができます。

② 採取した岩石を、ハンマーなどを使って握りこぶしぐらいの大きさに割っていきましょう。形や大きさをそろえることで、標本としてとても見やすくなります。

以上のことを参考に、来年度も楽しい標本づくりにチャレンジしてください。

【県知事賞作品への講評】

◎ 県内各地をくまなく回って採取しており、代表的な岩石はもちろんのこと、多くの種類の岩石がそろっていました。岩石の特徴などもしっかりまとめてあり、とても素晴らしい作品でした。